東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6830号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２Ｆ
編集 分室
電話：FAX（072）991-3908

八尾柏原支社
〒581-0016
八尾市八尾木北3-137
電話（072）993-2037

株式会社 カナオカ機材
代表取締役会長 金岡重雄
〒577-0033 東大阪市御厨東二-十一-一
電話（〇六）六七八七-一四四〇

近畿大学、井村屋の共同研究

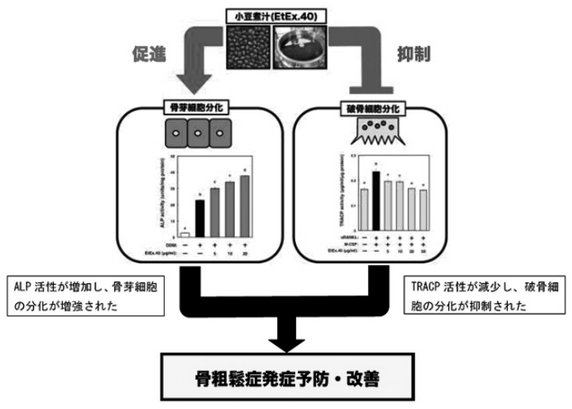
世界初!小豆煮汁が骨粗鬆症の予防・改善に役立つことを発見!

― 第60回日本食品科学工学会記念大会で発表 ―

新しい骨と入れ替わり強い骨を保つ

近畿大学農学部（奈良県奈良市、宇都宮直樹学部長）の伊藤智広講師（水産学科水産利用学研究室）と井村屋グループの事業会社である井村屋株式会社（三重県津市、前山健社長、以下井村屋）開発部は、これまで進めてきた共同研究の中で、細胞レベルにおいて小豆煮汁中の成分が骨粗鬆症の予防・改善に役立つことを世界で初めて発見した。

ヒトの骨には、骨を作る細胞（骨芽細胞）と、古くなった骨を壊す細胞（破骨細胞）の2種類の細胞があり、これらがバランスを保ちながら少しずつ新しい骨と入れ替わること（骨代謝）で強い骨を保つことができます。骨粗鬆症とは骨芽細胞に比べ破骨細胞の働きが上回り、骨を壊す作用が強くなるために骨がスカスカ（骨密度低下）になり、もろくなる状態のことを言います。



小豆を原料とする商品を主力としている井村屋は、小豆加工品の製造段階において大量に発生する小豆煮汁に注目し、同大学の伊藤智広講師と共同で研究を行った。その結果、小豆煮汁から調製したポリフェノール成分を豊富に含む抽出液は、骨芽細胞の分化（細胞が何らかの役割を持つ細胞に変化すること）を活性化、破骨細胞の分化を抑制させることで、骨を作る働きを強め、同時に骨を壊す働きを弱める性質を持つことが判明しました。このように小豆煮汁は骨粗鬆症の予防・改善に役立つ素材として今後活用できることが期待されている。

なお、この研究成果は、8月29日～31日に行われた第60回日本食品科学工学会記念大会（実践女子大学）において、発表された。

〈参考資料〉

平成23年（2011年）時点で、骨粗鬆症の患者数は1、300万人程と推定されています（日本骨代謝学会2011年版「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」より抜粋）。急速に高齢化が進むわが国では、骨粗鬆症患者数は年々増加するとともに高齢者の転倒による骨折患者数も増加しています。ひどいケースでは大腿骨骨折により自力歩行が不能となるため、寝たきりの生活へとつながる。

私たちの骨格は、骨芽細胞による骨形成（新しい骨を作ること）と破骨細胞による骨吸収（古い骨を壊すこと）によって形成・維持されています。しかしながら、加齢や栄養のアンバランス、運動障害（手足や体幹の随意的な運動がうまく行えない状態）、ホルモン分泌の異常等により骨吸収が骨形成を上回ると、骨量が減少し骨粗鬆症を発症します。近年の研究により、老化による骨形成の抑制、閉経による骨吸収の活性化が骨粗鬆症の誘因の1つであることが分かってきました。したがって、骨芽細胞と破骨細胞の分化を調節することは骨粗鬆症の予防・改善に繋がると考えられる。

この研究により、小豆煮汁は骨芽細胞および破骨細胞の分化を調節し、骨粗鬆症の予防・改善に役立つ素材であり、機能性を付与した食品の開発に活用できる可能性が見出された。

伊藤講師は、小豆煮汁成分が骨芽細胞および破骨細胞の分化を調節することが明らかになったことで、骨粗鬆症患者の割合が高い高齢者の方々に、特に積極的に小豆食品を摂取していただき、骨粗鬆症の予防に努めていただければと考えている。とりわけ赤飯のような色出しに小豆煮汁を使っている商品の摂取をしていただけたら、より効果的ではないかと考えている。

井村屋では、今後も小豆を使った食文化の伝承、小豆製品の普及により一層注力するとともに、消費者の健康にも貢献すべく小豆に関する研究及びその成果を活かした食品の開発、素材としての開発を進めます」と、コメントしている。

苦しむ民衆のために立ち上がった

大塩平八郎が駆け抜けた町を訪ねて

9月28日(土)午後1時30分 チャリティーウォーク

江戸時代に「苦しむ民衆のために立ち上った正義の味方・大塩平八郎」が起こした反乱を、歴史の舞台を訪ねながら、まち歩きを楽しむチャリティーウォークが、9月28日（土）午後1時30分から、京阪・地下鉄天満橋に集合してスタートする催しがある。

当日、案内役として講師をつとめる沖本然生さんは、一人でも多くの人が参加して、アジアの農村に安全な飲料水を贈る支援活動のためのチャリティーウォークですので応援してください―と、次のように「まいど！大阪おもしろツアー」の趣旨・目的を述べている。

◇

9月28日(土)の誰でもが参加できるチャリテーウォーク（ウォーカーソン）の案内です。

私が実施するツアーの中で、いまのところ一般参加できるチャリテーウォークです。

基本は各団体、クラブなどに依頼されて、知っているようで知らないおおさかの良さを20コースばかりを案内しています。

今回のツアーは、公益社団法人アジア協会アジア友の会主催で昨年はじめから定期的に実施しています「まいど！大阪おもしろツアー」で、今回は「天満組と大塩平八郎の駆けぬけた町を訪ねて」

天満宮を中心とした天満地区は大坂三郷の一つで主に江戸時代の史跡が多く残っています。また、古地図を持って街歩きをしますが今もその通りの町並みです。

皆が知っているようで知らない天満の魅力を案内します。

歩行距離は大体4～5kmですが休憩を多く取りますので安心してください。

なお、終了後の食事会を開催。

東大阪市内企業の景気動向

4月～6月期 はほぼ横バイ 10～12月は好転

東大阪市経済部では、市内中小企業の動向調査を年4回実施しているが、このほど今年4月～6月までの結果が、まとまった。東大阪市内に事業所を置く企業で、郵送によるアンケート調査を7月1日に発送して、このほど製造業1、077企業のうち312社から回答があった（回答率29％）。非製造業423社のうち106社から回答があった（回答率25・1％）。

今期（4月～6月）の「景況」は、ほぼ横ばいだったが、来々期（10月～12月）の見通しでは、「明るい」と答えた企業が多く見られた。

〔概　況〕

平成25年4月～6月期の市内中小企業動向調査（対象企業150社）によると、製造業では、今期の「景況」DI（前年同期比）は、前回調査より1ポイント減少の（－）26で、ほぼ横ばいとなった。

「仕入単価」DIは、前回調査の21ポイントの大幅増に続き、今回調査でさらに11ポイント増加の（＋）39となり、仕入単価が上昇したと回答した企業の割合が2期連続で増加している。非製造業でも、今期の「景況」DI（前年同期比）は（－）20と前回調査と横ばいとなったが、「仕入単価」DIは、前回調査よりも19ポイント大幅増の（＋）35となり、製造業と同様に2期連続の増加となり、仕入単価が上昇していると回答した企業の割合がここ半年で急増している。

「来々期の見通し」（前期比）では、製造業・非製造業とも、好転と回答した企業の方が悪化と回答した企業より多く、平成25年10月～12月期の見通しは明るい結果となった。

◇製造業の景況は前回調査とほぼ横ばい。仕入単価はこの半年間で上昇したと回答した企業が急増。

製造業の「景況」DI（前年同期比）は前回調査より1ポイント減少の（－）26で、前回調査とほぼ横ばいとなった。

「生産・売上額」DI（前年同期比）は、4ポイント増加の（－）26であり、前回調査の悪化傾向からやや改善している。

「仕入単価」DI（前年同期比）は、前回調査の21ポイントの大幅増に引き続き、今回調査でもさらに11ポイント増加して（＋）39となっており、仕入単価が上昇していると回答した企業の割合がこの半年間で急増している。一方、「販売単価」DI（前年同期比）は前回調査よりもわずか2ポイントの増加にとどまっており、「収益状況」DI（前年同期比）についても、前回調査の14ポイント減少から、今回調査でさらに3ポイント減少の（－）36で、ここ数年では比較的低い数値であり、仕入単価の上昇が、収益状況の悪化傾向に大きく影響していることが伺える。

「経営上の問題点」を見てみても、「原材料（仕入商品）高」が23％となり、「売上、受注の停滞減少」の61％に続いて2番目で、依然として高い水準となっている。さらに、前回調査で12％増加して21％であった「仕入先からの値上げ要請」が19％とほぼ横ばいを維持しており、ここ数年では比較的高い水準であることから、仕入等の価格の上昇を経営上の問題点と考えている企業が多い結果となった。

製造業の「来期の見通し」DI（前年同期比）は、前回調査までの2期連続の大幅増から、今回調査で4ポイント減少の（－）11となり、「来々期の見通し」DI（前年同期比）も同様に前回調査までの2期連続の増加から、今回調査で7ポイント減少の（－）2で、前回調査のプラス値から再びマイナス値に転じた。一方、「来々期の見通し」DIは、3ポイント増加の（＋）16かしかし住宅開発による池の埋め立てや河川の改修などで年々減少していったため、平成11年11月、地元の有志がヒトモトススキを後世まで残そうと池の西側に石碑を立て、保全を呼びかけている。

と、前回調査の20ポイント大幅増からさらに3ポイント増加の3期連続の改善で、平成25年10月～12月については、見通しは明るいとする企業の割合が増加している。

「今後の景況に影響を与える要因」では、「内需の動向」の53％が依然として最も高い。また、前回調査で11％増加した「原油価格」は、今回調査で8％減少の26％となり、「為替相場の変動」も37％から34％とやや減少しているが、今後のどのような動きをするのか注目したい。さらに、「民間投資の動向」が5％増加の23％、「公共投資の動向」が4％増加の19％といずれも増加しているなど、投資への期待感がやや増し）している傾向が見られる。

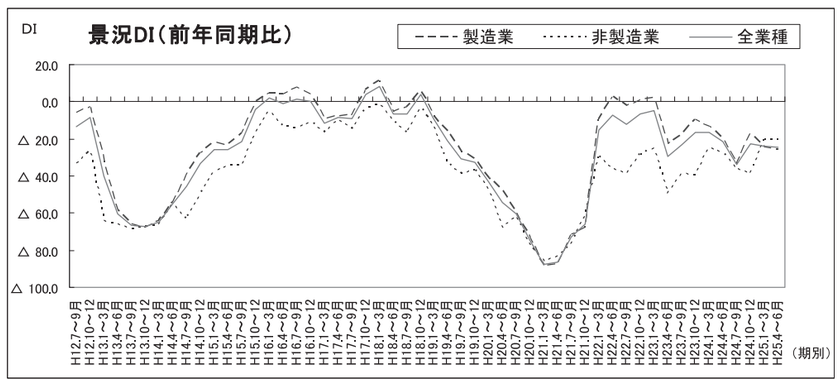
◇非製造業の景況は、前回調査の大幅改善を維持して横ばい。見通しは明るい見方に一転している。

前回調査で3期連続の悪化から大幅改善していた非製造業の今期の「景況」DI（前年同期比）は、今回調査では横ばいの（－）20で、前回調査の改善結果を維持している。一方、「生産・売上額」DI（前年同期比）は、前回調査で大幅改善していたが、今回調査で10ポイント減少の（－）26となり、再び悪化に転じた。

「仕入単価」DI（前年同期比）は、前回調査の11ポイント増加に引き続き、今回調査でもさらに19ポイント増加して（＋）35となり、製造業と同様に仕入単価が上昇していると回答した企業の割合がここ半年で急増している。

（次号に続く）

市内中小企業動向調査報告（平成２５年４～６月期）



※DIとは、好況（増加、上昇、好転）と回答した企業の比率から不況（減少、下降、悪化）と回答した企業の比率を引いた数値であり、判断の目安となる指数である。

生駒山にひと足早い秋の気配

東大阪市が天然記念物に指定している「ヒトモトススキ」が、生駒山ろくにある日下新池（同市日下町1）の　イネ科に属するススほとりで茶褐色の穂をつけ、平地よりひと足早い秋の風情を漂わせている。

キとは異なり、ヒトモトススキはカヤツリグサ科の植物。一株の根元からたくさんの茎を伸ばし、無数の実をつける穂先がススキに似ていることからこの名が付けられた。また、葉の縁が鋭くイノシシも切るという例えから別名をシシキリガヤという。

本来ヒトモトススキは海岸に近い湿地に生育するもので、こうした山中に群生するのは珍しい。約3、000年前、大阪湾が生駒山ろくまで迫っていたことを裏付ける貴重な残存植物として、昭和49年3月に同市の天然記念物に指定された。し

第３回本栖・やまとチャンピオンズリーグ アクアコンシェルジュカップ
9月 24(火) 25(水) 26(木) 27(金) 28(土) 29(日)
主催／大阪府都市競艇組合
■早朝前売発売 午前7時30分開始
暴力団関係者・ノミ屋等の入場お断り!
BOAT RACE 住之江

住宅型有料老人ホーム
フォーユー八尾
平成25年11月オープン予定!
施設運営　日健マネジメント
居室数50戸　入居相談・受付中
お問い合わせ・資料請求・受付窓口　【営業時間／9:00～17:00】◎お気軽にお問い合わせください。
0120 FreeDial 0120-49-5502
安心　入居費用 介護度の重い方も、ご相談ください。 敷金 0円　月額費用 108,000円
※入居条件：要介護1～5、65歳以上の方
内訳 家賃/42,000円 管理費/24,000円 食費/42,000円
充実　サポート!　ご高齢の方が、安心、快適に暮らせる バリアフリー設計　24時間スタッフ常駐　専門の食事会社による食事提供など、万全の生活サポート!!
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
関西にて、他21施設運営
ホームページURL　日健マネジメント　検索　日健マネジメントで検索して下さい。 http://www.nikken-m.jp/
現地案内担当　八尾市老原1-44　小山 博（河内新聞社長）090-8213-4712
大阪府八尾市老原4丁目98番地
JR関西本線(大和路線)「志紀」駅徒歩約15分

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市八尾木北３－137
電話（072）993-2037
FAX（072）993-2037

一般社団法人 予防医療推進協会

決起集会開催

認知症予防をメーンにして

趣旨説明する松茂良興治理事長

65歳以上の高齢者のうち約462万人が認知症であるとされている。認知症の予備軍は約400万人いると推計。65歳以上の4人に1人が認知症と予備軍だ。政府の対応だけでは間に合わず、各地でさまざまな取り組みがされている。

一般社団法人予防医療推進協会の決起集会が9月5日、八尾市文化会館プリズムホール4階会議室2（八尾市光町2）で行われ、関係者、市民ら約30人が集まった。

まず、本紙の小野元裕主幹（43）が来賓挨拶を行った。

次に、松茂良興治理事長（73）が「当協会は認知症予防をメーンにします」と趣旨説明した。

その後、認知症予防の専門家がスライドと映像を使って講演し、「認知症は物忘れではなく病気です。病気なので予防も治療法もあります」と説明した。映像は50歳を過ぎたばかりの痴呆症の男性の日常生活を紹介した驚くべき内容だった。

最後に松茂良理事長が考案した認知症予防ゲームを参加者全員で行った。

毎年恒例の「八尾河内音頭まつり」が今年も久宝寺緑地で開催

河内音頭大盆踊り大会

河内音頭の本場・八尾の夏を飾る恒例の「第36回八尾河内音頭まつり」が、9月8日、久宝寺緑地（八尾市西久宝寺323）で開催された。八尾河内音頭まつり振興会（会長:中西啓詞　八尾商工会議所会頭）主催。

食べて！見て！参加して！みんなで楽しむ、みんなのオマツリ!!

八尾河内音頭まつりの様子

午前10時から開始予定だった「ふれあいステージ第1部「吹奏楽の演奏」と「リサイクルフェア」は雨のため中止となった。

午前11時から午後8時30分まで、同緑地内の陸上競技場で「マルシェ de オンド～八尾つまいもん広場～」が開催。市内飲食店による地元グルメやB級グルメなどの出店や大分県宇佐市など八尾市と交流のある国内都市による物産即売会などを行うコーナーで、人気の店には長蛇の列も見られた。

正午から午後3時過ぎまで、同陸上競技場の中央で「河内音頭グランプリ」が人気タレント・タージンさんの司会で行われた。同グランプリは、市内外の市民団体や企業、河内音頭愛好家グループなど44団体、約1500人が参加し、競技場内を音頭取りによる河内音頭の生演奏に合わせて練り歩き、踊りやパフォーマンスを競うもの。グランプリには「流し節正調河内音頭保存会」が前年に引き続き優勝し、大会2連覇を果たした。

午後2時30分から午後6時30分まで、同軟式野球場で「八尾河内音頭まつりダンスコンテスト」が開催。これは、中学生までの2人以上のチームによるストリートダンスコンテスト。かわいらしいダンスや激しいダンスに観客から盛大な拍手が送られた。

そして、午後4時から午後8時30分まで、今回最大のイベントである「河内音頭大盆踊り大会」が同陸上競技場中央で行われ、伝承音頭の披露や、小学2年生から6年生の男子3人、女子5人の合計8人と昨年の大使小学4年生男子1人による「こども音頭大使」の実演、八尾本場河内音頭連盟から8人の音頭取りが櫓に上り、自慢の喉を披露。踊りの熱気と活気で会場は去り行く夏の夜にふさわしい盛り上がりを見せた。

八尾河内音頭まつりは、市内最大のイベントで、多くの観客や踊りを楽しむ人たちで賑わう。昭和53年に市制施行30周年を記念した市民イベント「八尾まつり」として始まり、平成6年に河内音頭一色の「八尾河内音頭まつり」と改称された。

今年のまつりは約2万8000人の来場者があった。

まつり議会の前にほのぼのとした雰囲気の記者会見

河内家菊水丸さん

八尾市議会65周年を記念して、9月5日の本会議の前に「まつり議会」が開催された。伝統河内音頭継承者で八尾の魅力大使である河内家菊水丸さん（50）が議場で河内音頭を披露。傍聴に訪れた市民ら約100人は身を乗り出して聞いていた。

これに先駆けて、八尾市役所9階会議室で記者会見が行われた。記者会見の中で、河内家菊水丸さんが、八尾市議会議長の土井田隆行さん（61）に「えんやこらせではなく、いんやこらせが正しいあいのて（掛け声）です」と稽古をつけるシーンがあり、ほのぼのとした雰囲気だった。

朝礼拝見 −18−

第4回朝礼コンテスト

朝礼ジャーナリスト　黒河龍二

松潮物流株式会社の表彰式

活力溢れる朝礼コンテスト

優勝は松潮物流株式会社

「テンポ」「声の大きさ」「笑顔」三拍子揃う

8月10日、グランキューブ大阪（大阪市北区中之島5）で第4回朝礼コンテストが行われた。このコンテストは大阪府倫理法人会（佐藤福男会長）が主催し、今年で4回目を迎える。

コンテストの目玉は「磨き抜かれた朝礼の競い合い」。本来朝礼とは他社と比べ合うものではない。しかし、朝の活力を大事にしている倫理法人会では、あえてコンテスト形式をとることで出場企業の朝礼活性化を図っている。また、活力溢れる朝礼を目の当たりにした観客にも刺激を与え、翌日からの自社の朝礼を高めるきっかけとなっている。

今回優勝したのは「テンポ」「声の大きさ」「笑顔」の三拍子がそろった松潮物流株式会社。200人を超す観衆の前でも楽しさが伝わってくる満面の笑顔は見ていてとても清々しかった。

審査員特別賞は「元気」と「迫力満点」の株式会社コージツ。男性の力強さが全身からあふれ出す朝礼で、観ているこちらも気合いが入る内容だった。

この他にも、自社のオリジナルテーマで入場し、仕事に対する「思い」と「楽しさ」を元気思入のいっぱい表現した株式会社フジムラ。

株式会社コージツの朝礼実演

それぞれのキャラを活かし、ユーモアあふれる朝礼で観客を魅了した有限会社さんぱつや。

朝礼の「統一感」が素晴らしく、チーム力を見事に発揮した株式会社ホワイトマックス。

どのチームも素晴らしい朝礼実演で、改めて活力あふれる朝礼が企業にとって必要だと気付かせてもらう朝礼コンテストであり、今後も更なる朝礼コンテストの発展に期待した い。

【参加会社】

松潮物流株式会社
代表取締役　豊山憲正
〒571-0015　門真市三ツ島2120番地
TEL：072-886-1180
FAX：072-886-1186
http://m-line.co.jp/index.html

株式会社コージツ
代表取締役社長　別府直樹
〒596-0012　岸和田市新港町10-9
TEL：072-436-8877
FAX：072-436-8088
http://www.kohjitsu.com/

株式会社フジムラ
代表取締役社長　橋本秀一
〒559-0011　大阪市住之江区北加賀屋4-4-20
TEL：06-6686-7060
FAX：06-6696-7061
http://www.kk-fujimura.jp/

有限会社さんぱつや
代表取締役会長　土屋篤
〒565-0806　吹田市樫切山4-3
TEL：06-6875-8877
FAX：06-6875-8899
http://sanpatsuya.jp/corporate-info.html

株式会社ホワイトマックス
代表取締役　増本剛
〒573-0007　枚方市堂山1丁目1番25号
TEL：072-848-3678
FAX：072-848-3677
http://www.whitemax.co.jp/index.html

大阪府倫理法人会事務局
〒540-0032　大阪市中央区天満橋京町1－23
新日本天満橋ビル501号
TEL：06-6949-0738
FAX：06-6949-0739
http://osaka-rinri.net/

第2回

日本の心を学ぶコンサート 開催

ずばらしい精神性を……人でも多くの人に

第2回日本の心を学ぶコンサートが、9月15日14時から大阪市北区民センター（大阪市北区扇町2、JR環状線天満駅下車徒歩3分）で開かれる。NPO法人大楽小楽の代表、石黒一さん（83）が、政治経済から文化に至るすべてにおいて危機的な現状を何とかしなくてはならないと考えた「江戸しぐさを学ぼう」、第3部は「全員で懐かしい歌曲を歌う」、第4部は「音楽家による一人でも多くの人に分かってもらおうと昨年から始めた試み。

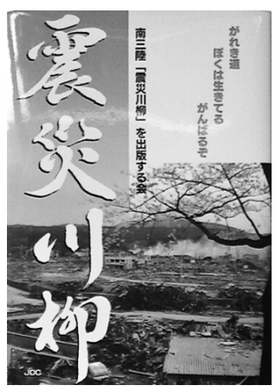
第1部は「音楽と映像と語りで日本のこころを綴る」、第2部は「震災川柳」を持つ遠藤雅彦さん（左）と阪井健二さん

平成23年3月11日午後2時46分、未曾有の巨大地震と津波により、南三陸町は壊滅的な被害を被った。

旭ケ丘地区のライフラインが完全に停止する中で、避難民の心の繋がりを考え「川柳」を応募した結果、毎日の集合時間は大声で笑える場所になった。須藤春香さん（旭ケ丘在住）の川柳「大津波みんな流してバカやろう」など、震災の深い爪痕を表現した作品が詰まっている。

南三陸

「震災川柳」を出版する会



問い合わせは、JDC出版（電話06－6581－2811）へ。定価1050円（税込み）。

（小川秀人）

広域

東日本大震災復興へ向けて 地域交流会のあゆみ

岸和田　土生神社

創建920年を超える土生神社（岸和田市土生町）の地域交流会が8月18日に開催された。宮司の阪井健二さん（49）は就任11年目を迎えるが、地域交流会を毎月開催しており、氏子のみならず地域とのつながりを大切に交流をはかってきた。

平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生。度重なる激震、大津波そして悪夢の原発事故。

3カ月後の例会に、福島県いわき市からの避難者、遠藤雅彦さん(30)をゲストに迎え、被災地の現況をテーマに話してもらった。

これがきっかけとなり、県外避難者と支援者の集いを立ち上げた。遠藤さんの住居(いわき市)は津波で流失。家族と共に郡山市、宇都宮市、東京と避難行を続けた。その後、遠藤さんは友人の多い大阪を生活基盤の立て直しの地に選んだ。遠藤さんは現在東日本大震災避難者支援サポート協会の代表として関西在住の避難者への就業サポートを中心にさまざまな活動を行っている。

遠藤さんたちには、日本赤十字の義援金への問い合わせも多い。全国・海外から5千億円を超える義援金が集まったと報じられているが、未だに被災者の元にはわずかな金額しか届いていない。新聞・テレビも報道に熱心でないのはなぜなのかと被災者からの疑問の声も多い。

今回の交流会に際して、南三陸「震災川柳」を出版する会が、阪井宮司と遠藤さんに「震災川柳」を進呈した。

「地域は変われども復興への思いは同じです。日常の小さな積み重ねを大切にしていきたいと思います」と語る阪井宮司の言葉が印象的だった。

連載小説

似た人探し（17）

大谷　邦祐

年は離れているが気の合う友人が豊かにはいる。しばしばカフェで、あるいは居酒屋で駄弁る。友人とそうでない人とは、会うためにテーマがあるか、ないかだろう。友人ならば、テーマがなくてもカフェや居酒屋で一緒におれる。反対に友人でないと、テーマがなければ、一緒におれない。

田上忠一は豊にとって前者の人だ。時間があると、互いに電話をしてカフェや居酒屋で会い、何となく駄弁り、別れる。田上は70歳半ばの税理士。硬い仕事なのに、普段は柔らかい。多読で、豊富な知識の持ち主だ。

元気溌剌とした田上が一年ほど前に大腸ガンで入院したとき、豊は信じられなかった。入退院を繰り返す内に、でっぷり太っていた田上はどんどん痩せていった。見るからに骨と皮になっていった。

ここ2カ月ほど田上と会わずにいたので、豊は気になっていた。なんだかんだと雑事に追われ、気になりながらも会わずにいた。

そんなとき、田上の奥さんから電話があった。すぐに済済会病院へ行き、病室のドアを開ける。豊は息ができないほど驚いた。そこには変わり果てた田上が寝ていた。肉と髪の毛がほとんどなく、ぐったりしている。

豊かに気づくと、田上がにたっとしてこぼした。

「やはり、最後は宗教や一無神論者の口からこのような言葉がこぼれるのが、豊かには不思議でならなかった。滑稽な響きがした。田上の顔は、磔にされた聖者にそっくりだった。

一週間後、田上の奥さんから豊に訃報の電話があった。

忠海弘一さん（弁護士・74）

本紙人気連載「老弁護の散歩道」の忠海弘一（ただうみ・こういち）さんが9月7日亡くなった。胃ガンで闘病の中にもかかわらず、洒脱なコラムを書き続けた。

中央大学法学部卒業後、弁護士に。

仕事の傍ら、幅広い趣味を持つ人生の達人だった。サイクリング、居合、ヨガ、ドラム、シナリオ、落語、アラビア語はじめ多くの言語学習等、枚挙に遑がない。旅行も好きで、ウクライナサバイバル旅行、米国宇宙旅行体験などにも参加。文化創造倶楽部で多くの発表を行った。

故人の遺志で葬儀は家族葬で執り行われた。享年74。

子供から大人まで 1人で楽しく遊べる

脳の活性・開発・思考力強化、ボケ防止（予防医療の一助になる）等々を目的とした数字ならべパズル

企画立案・製作・販売
「自己啓発」潜在意識開発　松茂良興治事務所
八尾市福万寺町南6－2－3　072－922－3933

1	2	3	4	5
10	9	8	7	6
11	12	13	14	15
20	19	18	17	16
21	22	23	24	

1	16	15	14	13
2	17	24	23	12
3	18		22	11
4	19	20	21	10
5	6	7	8	9

ぷりずむ寄席
文珍 円楽 ふたり会
9月18日（水）19:00 開演（18:30 開場）
一　般：5,000円
友の会：4,500円
【税込・当日各 500円増】
全席指定
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※1 階席のみ販売。
○チケット発売
【友の会先行発売】 2013年6月9日（日）午前10：00～
【一般前売発売】 2013年6月16日（日）午前10：00～
※1回の受付で最大枚数4枚まで（ネット購入も同様）
PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ
プリズムホール チケットカウンター ☎072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット http://prismhall.jp/

企業経営者で阿闍梨の著者が説く人生論。現代人必読の書。
らしく生きる
松茂良 興治 著
B6判192頁並製本
定価：1575円（税込）
発行：ドニエプル出版
発売：新風書房
全国書店で発売中
問い合わせは 松茂良興治事務所へ TEL 072-922-3933

元気になれ！
ヘム鉄ゼリー
1粒にほうれん草30株分、プルーン300粒分の鉄分補給！
黒粒ヘム鉄ゼリーは、ヘム鉄と、瞳に優しいアントシアニン色素、ビフィズス菌の栄養になる（善玉菌を増殖させる）オリゴ糖、そして、スギナ・ヨモギなどをバランスよく含有したゼリーです。
430g（50粒）
￥3,990（税込）
（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

親孝行出版のすすめ

「孝行のしたい時分に親はなし」と言われます。
親が亡くなってから、もっと話を聞いておけばよかったと思う人は少なくありません。まだ親が元気なうちに話を聞き、形に残すことで親孝行ができます。また、子どもである自分の存在の貴さを改めて確かめることができ、いのちのバトンタッチを末代まで残せます。
プロのライターがインタビューし、熟練の編集者が編集し、本格的な印刷のうえ上製本（ハードカバー）に仕上げますので、安心してお任せ下さい。心を込めて、永遠に残るあなたの財産をお作りします。

《基本設定》
A5判32ページ上製本（ハードカバー）、布表紙に金（または銀）箔押し
モノクロ写真10枚挿入　インタビュー時の肉声入りCD付き
制作部数 10部　出版費用 50万円（税別）

ドニエプル出版　〒581-0016 八尾市八尾木北3-137 TEL・FAX 072-993-2037